

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		山形大学		設置者名	国立大学法人 山形大学		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成17年度)		
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数	教員就職者数
人文学部	人間文化学科	100人	中一種免(国語) 高一種免(国語) 中一種免(社会) 高一種免(地理歴史) 高一種免(公民) 中一種免(英語) 高一種免(英語)	平成18年度 平成18年度 平成18年度 平成18年度 平成18年度 平成18年度 平成18年度	93人	14人 0人 3人 2人 8人 1人 1人 1人	0人
	法経政策学科	200人	中一種免(社会) 高一種免(公民)	平成18年度 平成18年度	—	— —	—
地域教育文化学部	地域教育学科	80人	小一種免 中一種免(国語) 高一種免(国語) 中一種免(社会) 中一種免(数学) 高一種免(数学) 中一種免(理科) 高一種免(理科) 中一種免(英語) 高一種免(英語) 幼一種免 養学一種免	平成17年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度	—	— — — — — — — — — — — —	—
	文化創造学科	75人	中一種免(音楽) 高一種免(音楽) 中一種免(美術) 高一種免(美術) 高一種免(工芸) 中一種免(保健体育) 高一種免(保健体育)	平成17年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度	—	— — — — — — —	—
	生活総合学科	85人	中一種免(技術) 高一種免(工業) 中一種免(家庭)	平成17年度 平成17年度 平成17年度	—	— — —	—

			高一種免(家庭) 栄養二種免	平成17年度 平成17年度			— —	
理学部	数理科学科	45人			36人	17人		4人
			中一種免(数学) 高一種免(数学)	平成12年度 平成12年度			11人 17人	
	物理学科	35人			40人	8人		0人
			中一種免(理科) 高一種免(理科)	平成12年度 平成12年度			4人 8人	
	物質生命化学科	45人			44人	9人		0人
		中一種免(理科) 高一種免(理科)	平成12年度 平成12年度			1人 9人		
生物学科	30人				32人	15人		0人
		中一種免(理科) 高一種免(理科)	平成12年度 平成12年度			7人 15人		
地球環境学科	30人				27人	8人		0人
		中一種免(理科) 高一種免(理科)	平成12年度 平成12年度			1人 8人		
工学部	機能高分子工 学科 昼間コース	115人	高一種免(工業)	平成12年度	116人	5人		0人
	機能高分子工 学科 夜間主コース	10人	高一種免(工業)	平成12年度	4人	0人		0人
	物質化学工学 科 昼間コース	115人	高一種免(工業)	平成12年度	104人	9人		1人
	物質化学工学 科 夜間主コース	30人	高一種免(工業)	平成12年度	34人	3人		0人
	機械システム 工学科 昼間コース	120人	高一種免(工業)	平成12年度	150人	2人		0人
	機械システム 工学科 夜間主コース	30人	高一種免(工業)	平成12年度	42人	4人		1人
	電気電子工学 科 昼間コース	80人	高一種免(工業)	平成12年度	85人	6人		0人
	電気電子工学 科 夜間主コース	20人	高一種免(工業)	平成12年度	21人	3人		0人
	情報科学科 昼間コース				92人	7人		0人
		80人 80人	高一種免(情報) 高一種免(工業)	平成13年度 平成18年度			7人 —	
情報科学科 夜間主コース	20人	高一種免(情報)	平成13年度	20人	1人		0人	
応用生命シス テム工学科 昼間コース	60人	高一種免(情報)	平成13年度	58人	7人		0人	

	応用生命システム工学科 夜間主コース	10人	高一種免(情報)	平成13年度	11人	4人	0人
農学部	生物生産学科	55人	高一種免(理科) 高一種免(農業)	平成12年度 平成12年度	59人	5人 4人 4人	2人
	生物資源学科	50人	高一種免(理科) 高一種免(農業)	平成12年度 平成12年度	58人	7人 5人 7人	1人
	生物環境学科	50人	高一種免(理科) 高一種免(農業)	平成12年度 平成12年度	48人	10人 9人 3人	2人
入学定員合計		1,570人	合計		1,174人	144人	11人
備考	<p>・「免許状取得者数」欄の、左側には各学科の実人数を、右側には学科内の教員免許課程ごとの人数を記載している。</p> <p>・平成17年度に、地域教育文化学部は教育学部より改組。</p>						

右欄の指摘等にかかる現在の状況		委員による指摘又は指導・助言等	
全般的事項	<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の教員養成に関する教育課程、教員組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。 ・大学は、地元の教育委員会との間で、適度な緊張関係を持ちながら意思疎通を図ってほしい。 	
個別的事項	教員養成に対する理念等	<ul style="list-style-type: none"> ・教員養成に対する理念・構想が明確化されており、それを具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織が十分整備されている。 	
	教育課程 教職に関する科目等	<ul style="list-style-type: none"> ・授業科目「教育実践研究Ⅰ(国語)」等一部の授業科目のシラバスにおいて、授業で使用する「テキスト」又は「参考書」欄に、「学習指導要領」が明記されていない。 ・授業科目「教育法(社会)A」と「教育法(社会)B」について、同じ名称の授業科目であるにも関わらず、両科目の内容が全く異なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法令の趣旨により、指導法に関する授業科目は、学習指導要領に掲げる事項に即して、包括的な内容を含んだ科目でなければならない。よって、これらの授業科目では、教科書または参考書として学習指導要領を使用するよう努めること。 ・授業科目「教育法(社会)A」「教育法(社会)B」について、教職課程上の位置付けが同等の科目であるため、両科目の内容に大きな隔たりがないかどうか再確認すること。 ・教職課程の授業科目(教職に関する科目・教科に関する科目)は、全学的な組織である「山形大学教員養成機構」が中心となって、各教員間で連携し、各科目の内容を再確認し、統括するようにしてほしい。
	教育実習	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次に附属学校における実習、3年次に公立学校における実習を行い、山形大学教員養成機構が中心となって、教育実習の全学方針、実習に際しての各学部との連絡調整など組織的に取り組んでいる。 ・協力校との事前打ち合わせ、実習中の大学教員の訪問及び指導、事後の協力校及び実習生に対するアンケート、分析等実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の教育課程の中に適切に位置づけられている。

<p>教職指導、 介護等体 験等</p>	<p>・教職研究総合センターの資料等が充 実していない。</p>	<p>・教職研究総合センターについて、人的・ 物的な充実(例えば、コンピュータや資 料の整備など)を図るべきである。</p>
<p>免許状取 得状況及 び教員就 職状況</p>	<p>・地域社会の発展に貢献できる教員の 養成を目指しており、県をはじめ地域と の連携も図られているが、県の採用者 数が増加しない中で、教員就職は厳しい 状況である。 (山形県:教員採用者数) ・平成18年度:111人 ・平成19年度: 97人</p>	<p>・教員就職は厳しい状況であるが、全国 的な教員就職状況にも対応しながら、取 り組んでほしい。 ・就職支援室の充実を図ってほしい。</p>
<p>施設・設備 の状況</p>	<p>・特記事項なし。</p>	<p>・附属小学校における教育実習生への 対応について、実習生が使用する控え 室まで気を配り、改善を図ってほしい。</p>